

**来館に関するお問い合わせ / Inquiries About Visiting The Museum**

ご利用にあたり、お困りのことなどございましたら  
以下までお問い合わせください。

お問い合わせ 浜松科学館サポート担当

**TEL. 053-454-0178**

**Mail. support@mirai-ra.jp**

対応時間：休館日を除く 9:30~17:00

休館日：月曜日（祝日・3/23、3/30、4/27 は開館）

**料金（常設展入場料） / Admission Fee (Permanent Exhibition)**

大人	600 円
高校生	300 円
中学生以下	無料

※プラネタリウム・大型映像の観覧には別途観覧料が必要です。

※70歳以上の方は入場料および観覧料が無料です。

（年齢を確認できるものをご提示ください。）

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの場合は、ご本人と介護者（1名）の入場料および観覧料が無料です。  
（手帳をご提示ください。）

**会場 / Exhibition Venue**

**浜松市科学館 みらいーら  
Hamamatsu Science Museum**

●アクセス

JR 東海道本線「浜松駅」から東へ徒歩約7分

東名高速道路「浜松 IC」より約25分、「浜松西 IC」より約30分

一般の来館者用の駐車場はありません。車でお越しの際は、有料の提携駐車場（イタクパーキング）もしくは近隣コインパーキングをご利用ください。

主催：浜松科学館

監修：広瀬浩二郎氏（国立民族学博物館 教授）

協賛：株式会社村田製作所、株式会社ミライセンス

協力：NPO 法人六星、浜松市鴨江アートセンター、

木下恵介記念館（浜松市旧浜松銀行協会）、浜松市立中央図書館、

浜松市美術館、浜松市博物館

後援：静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、NHK 静岡放送局、

K-MIX、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、テレビ静岡、

浜松商工会議所



本展  
ウェブページ



浜松科学館  
バリアフリー情報

**関連グッズ情報 / Museum Shop Items**

リフレクター缶バッジ



立体チャーム付  
キーホルダー



ステッカー



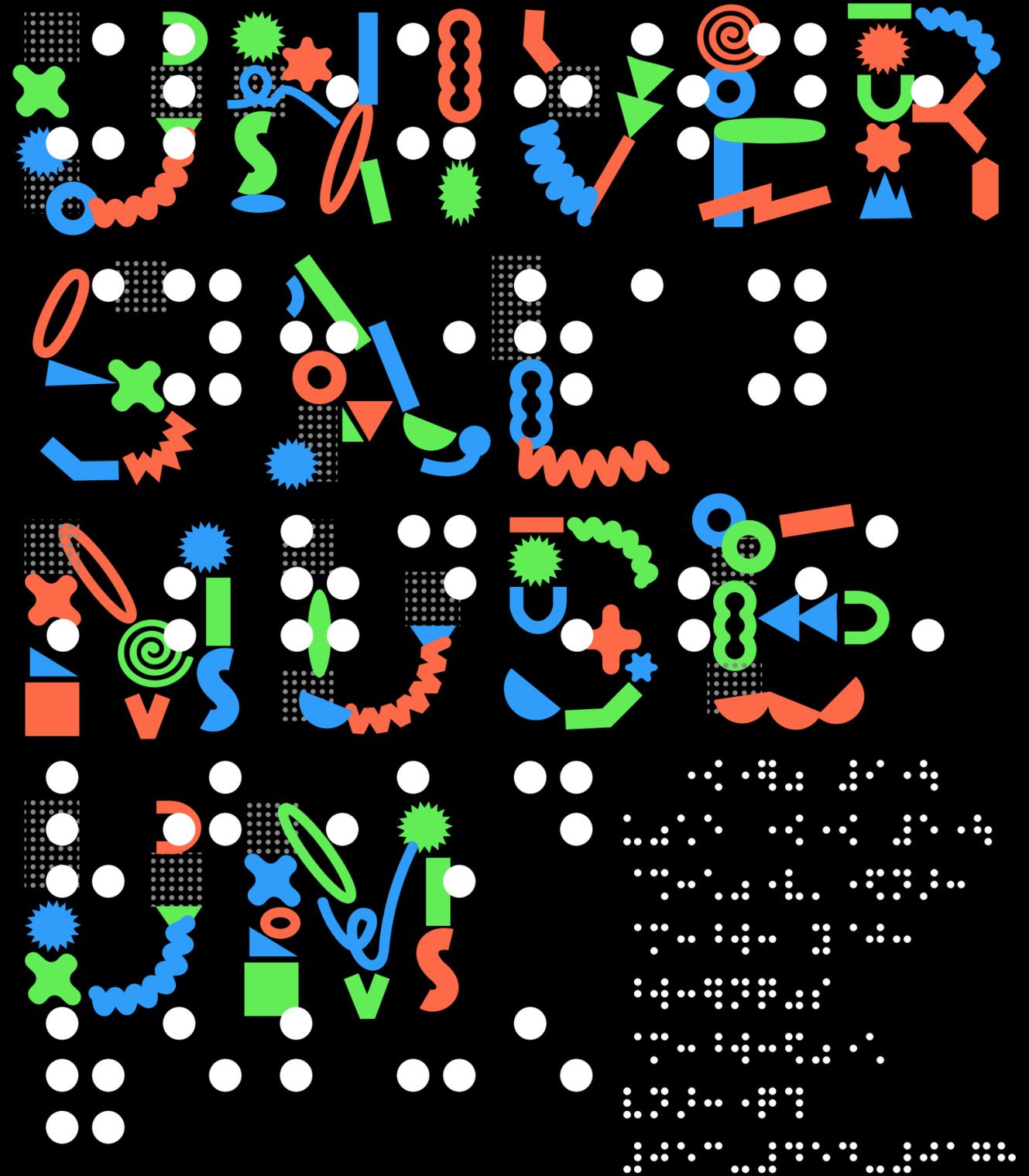
1階ミュージアムショップで、  
特別展の関連グッズを販売します。



静岡県浜松市中央区北寺島町 256-3  
TEL. 053-454-0178  
www.mirai-ra.jp

**さわって楽しむアートが科学館に大集合！**

UNIVERSAL MUSEUM in Hamamatsu Science Museum



浜松科学館 春の特別展

**ユニバーサル・ミュージアム "みる"がひろがるみらいーら**

2026.3.20.Fri ~ 5.10.Sun

www.mirai-ra.jp

**入場料：無料** ※常設展入場券が必要です

# ユニバーサル・ミュージアム "みる"がひろがる みらいーら

## さわって楽しむアートが科学館に大集合!

さまざまな素材の彫刻にさわったり、古墳の中に入ってみたり、「音」をさわったり…手で触れて、全身で感じる50点以上のアート作品が集まります。常設展の中にも科学につながる作品が並び、みらいーら全体が「ユニバーサル・ミュージアム」になります。科学館では初開催。あなたの「みる」をひろげよう!



- ### 作家リスト / List of Artists
- 株式会社ミライセンス
  - 富長敦也
  - わたる (石川智弥 + 古屋祥子)
  - 片山博詞
  - 株式会社三木製作所
  - 北川太郎
  - 松井利夫
  - 戸坂明日香
  - 前川紘士
  - 宮本ルリ子
  - 高見直宏
  - 堀江武史
  - ユニバーサル・ミュージアム研究会 + 滋賀県立陶芸の森
  - 島田清徳
  - 守屋誠太郎
  - 大塚オーミ陶業
  - 田代雄一
  - 岡本高幸
  - 渡辺泰幸
  - 日本点字図書館
  - 芦屋大学
  - 桑田知明
  - 真下弥生
  - 中村宏
  - 広瀬浩二郎
  - わらべ館 (制作: 若林 孝典)
  - 国内の各出版社
  - 株式会社ゼネラルアサヒ

**ユニバーサルハプティクスデバイス "echorb"**  
提供: 株式会社ミライセンス

2025年 大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「Better Co-Being (通称: ベタコ)」で話題となった「ふしぎな石ころ」が浜松科学館にやってきます。最先端の科学技術が生み出す、ぶるぶる、つるつる。触れて、感じて、だれかと分かち合う。心で触れるふしぎな体験を感じてみよう。

イベント名	開催日	内容	主催・会場
春の特別展ギャラリーツアー 講師: 広瀬浩二郎氏 (国立民族学博物館教授)	3/20 (金) 5/10 (日)	本展監修の広瀬浩二郎氏 (国立民族学博物館教授) が、展示作品の"触り"どころをご紹介します。 【時間】ウェブサイトをご確認ください	
要予約 Love Stone Project みらいーら 講師: 富長敦也氏 (彫刻家)	4/5 (日)	ハート型に彫刻された天竜川の石を磨きながら、温度や質感を感じてみませんか? 【時間】①10:00-11:30 / ②13:00-14:30	
要予約 彫刻の居場所を見つける WS 講師: 北川太郎氏 (彫刻家)	4/25 (土)	彫刻にふれながら館内を巡り、作品の居場所を見つけてみましょう。 【時間】①10:30-11:30 / ②13:00-14:00 / ③15:00-16:00	
さわる! 展示ツアー	3/28 (土)・29 (日) / 4/29 (水・祝) 5/2 (土)・3 (日) 他	さわって広がる、展示物の楽しみ方をお伝えします。 【時間】ウェブサイトをご確認ください	
さわる! サイエンスショー	3/28 (土)・29 (日) / 4/29 (水・祝) 5/2 (土)・3 (日) 他	触るとわかる! 触ってなっとく! 今までにはない、参加型のサイエンスショーです!	

イベント名	開催日	内容	主催・会場
ごごし、ごりごり 音の道具体験	3/24 (火)	洗濯板や石臼、すり鉢を見て、触って体験してみよう! 【時間】9:30-11:30	浜松市博物館
要予約 映画 「手でふれてみる世界」 上映会 & トーク	4/26 (日)	イタリアのオメロ触覚美術館を創設した視覚障がいのお夫婦を中心に展開するドキュメンタリー映画「手でふれてみる世界」(岡野晃子監督)の上映と、4名の登壇者によるアフタートークを行います。 【時間】13:30-16:15	浜松市鶴江アートセンター (共催: 浜松科学館) 木下恵介記念館 (会場)
さわって "みる" 本、"さく" 読書			
① 図書展示	3/27 (金) - 4/22 (水)	① 日本点字の創始者である石川倉次の紹介と、読書バリアフリー資料 (LLブック・大活字本・点字つき絵本など) の展示を行います。【時間】開館時間内	浜松市立中央図書館
② 体験イベント (読書バリアフリー体験会)	4/19 (日)	② 拡大読書器、デジジイ図書 (音訳図書の一種) 再生機、マルチメディアデジイの利用体験ができます。また、点字で自分の名前を手打ちする体験もできます。 【時間】14:00-16:00	
要予約 ワークショップ 「見て、学んで、描いてみよう! はじめての日本画体験」	4/25 (土)	対話をしながら作品を鑑賞したり、用意したさまざまな種類の絵に触れたりしてみましょう。その後、実際に日本画制作を体験します。 【時間】13:30-15:30 ※別途、要「足立美術館展」入館料	浜松市美術館

※各イベントについての詳細は浜松科学館ウェブサイトもしくは連携各施設のウェブサイトをご覧ください

### 監修者コメント / Curator's Comment

未来は誰も見る事ができない。だからこそ僕たちは手を伸ばし、足を踏み出して、全身で未来へ突き進む。人類は多様な手段を駆使して実験・体験を積み重ねてきた。そんな豊かな「験」が「見」に限定されるようになったのはいつ、なぜなのだろうか。科学とは、見えないものを見るようにすること。でも、どんなに科学が進歩しても、見えないものがあることを忘れてはなるまい。科学館は「見学」するだけの施設ではない。多彩な物・者との対話を通して、十人十色の「験」を楽しもう。触れてみる・調べてみる・話してみる・歩いてみる・繋げてみる。僕たちの「実体験」を育む「みる」の連鎖がひろがる。浜とは海と陸が出合う共生の場。海と陸が接触し、触発が生まれる。松とは永遠の命、生命力の象徴。科学館ならではの「ユニバーサル」の松明を高らかに掲げよう。浜松から世界へ、僕たちの不可視の未来が動き始める!

広瀬浩二郎 (ひろせ こうじろう) 国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授。総合研究大学院大学 人類文化研究コース 教授。自称「座頭市流フィールドワーカー」、または「琵琶を持たない琵琶法師」。1967年、東京都生まれ。13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年、同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、「触」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施している。2021年9月~11月、国立民族学博物館において特別展「ユニバーサル・ミュージアム-さわる! "触"の大博覧会」を担当した(本展は現在、各地に巡回中)。最新刊の「ユニバーサル・ミュージアムから人類の未来へ-「目に見えないもの」の精神史」(雄山閣)など、著書多数。2023年12月には「令和5年度文化庁長官表彰」を受ける。